

平成27年度事業報告書

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月 31日

【平成27年度の重点事項】

- ① J A S制度を巡る様々な動向について、農林水産省の指導の下、関係団体と連携を図りながら、制度運用の適正化に努めた。
- ② 関係団体の協力を得て、下記の諸事業の実施を通じ、J A S制度の普及啓発等に努めた。

【諸事業の実施】

1. J A S普及啓発事業

(1) 広報誌の発行

広報誌「J A S情報」については、J A S制度を中心とする内容の充実に努めながら、毎月1回発行し、J A S関係団体・事業者、関係行政機関、消費生活センター、消費者団体等に配布した。

(2) メールマガジン配信の実施

会員を対象として、J A S制度や講習会の開催等に関する有益な最新情報について、メールマガジン形式により、173号から189号にわたって配信した。

(3) 媒体広告の掲載

消費者団体の広報誌に、J A S制度に関する広告を掲載した。

(4) イベントへの出展

イベント概要	当日の様子
<p>第10回食育推進全国大会inすみだ2015 期日：27年 6月20日、21日 会場：墨田区総合体育館 墨田区錦糸4-15-1 錦糸公園内 主催：内閣府及び墨田区</p> 	<p>関係団体・企業の協力のもと、JASマーク品・ポスター・パネルの展示により、JAS制度の普及啓発を行った。</p> <p>また、展示されたJAS品を手に取りクイズに答える「JASクイズ」を実施し、「くらしにいかそうJASマーク」をテーマに作成したパンフレット、紙風船、ポケットティッシュなどを配布した。</p> 

2. JAS講習事業等

(1) 食品製造業品質管理担当者等一般講習会の開催

一般加工食品のJAS認定申請製造業者及び認定製造業者の品質管理担当者等を対象とする一般講習会を、次表のとおり実施した。

期 日 (2日間)	場 所	受講者数	内 容
27年 6月 9～10日	石垣記念ホール (東京)	128人	<ul style="list-style-type: none"> ・ JAS制度について ・ 食品の表示について ・ 品質管理概論 ・ 確認テスト 「JAS制度と食品の表示」 ・ 食品の安全性 ・ 食品工場における衛生管理 ・ 品質管理活動の実際
27年 10月 20～21日		156人	
28年 2月 2～3日	大阪リバーサイドホテル (大阪)	156人	

(2) 有機関係 J A S 講習会の開催

有機加工食品の格付（又は格付の表示）を行う生産行程管理者、小分け業者及び輸入業者を対象とする J A S 講習会を、次のとおり実施した。

期 日	場 所	受講者数	内 容
27年11月25日	製粉会館 (東京)	42人	<ul style="list-style-type: none">・総論<ul style="list-style-type: none">① J A S 法及び有機食品の検査認証制度②有機加工食品の日本農林規格及び認定の技術的基準・各論（「①②」と「③」のコース分け実施）<ul style="list-style-type: none">①生産行程の管理又は把握の方法及び格付の方法②小分けの方法及び格付の表示の方法③輸入品の受入れ・保管の方法及び格付の表示の方法

(3) 特別セミナー等の開催

(ア) 情報提供の一環として、当協会会員を中心に、特別セミナーを次表のとおり開催した。

期 日	場 所	参加者数	内 容
27年7月31日	石垣記念 ホール (東京)	114人	<ul style="list-style-type: none">・「新しい食品表示制度について」 消費者庁 食品表示企画課 品質表示班担当 課長補佐 船田 修平 氏・「地理的表示保護制度について」 農林水産省 食料産業局 新事業創出課 法令担当専門官 栗津 侑 氏
28年1月20日		135人	<ul style="list-style-type: none">・「H A C C P の今後の方向性」 —HACCP 義務化を見据えた施策の展開、 今後の普及・啓発に向けた現状と課題— 厚生労働省 生活衛生・食品安全部 監視安全課 HACCP 企画推進室長 梅田 浩史 氏・「食品安全マネジメント規格・認証について」 農林水産省 食料産業局 食品製造課 食品企業行動室長 横田 美香 氏

※所属・役職名は、開催当時のもの

(イ) 時宜に適したセミナーを開催した。

3. J A S 規格集等作成配布事業

新たに「ハンディ版 食品表示基準」を発刊するとともに、「J A S 制度の手引」を改訂した。
また、J A S 規格等の制定及び改正の都度、その内容を整理した J A S 規格集を作成・配布した。

4. 諸会議の開催

(1) 総会

当協会定款に基づき、次表のとおり総会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
27 年 6 月 17 日	ホテルモン トレ銀座 (東京)	・平成 26 年度事業報告及び収支決算に関する件 ・会費及び賛助会費の額及び納入方法に関する件 ・役員を選任に関する件

(2) 理事会

当協会定款に基づき、次表のとおり理事会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
27 年 5 月 13 日	製粉会館 (東京)	・平成 26 年度事業報告及び収支決算に関する件 ・会費及び賛助会費の額及び納入方法に関する件 ・役員候補者に関する件 ・平成 27 年度通常総会の開催に関する件
27 年 6 月 17 日	ホテルモン トレ銀座 (東京)	・会長、副会長及び専務理事の選任について
28 年 3 月 17 日	製粉会館 (東京)	・平成 28 年度事業計画及び収支予算に関する件

(3) 連絡協議会

当協会の団体会員の出席を得て、次表のとおり連絡協議会を開催した。

期 日	場 所	主要議題
27年7月15日	製粉会館 (東京)	<ul style="list-style-type: none">・ J A S マークの意味を消費者に認知していただくための方策について・ 検査方法の見直しについて・ 認定の技術的基準に条件を追加することについて
27年11月19日		<ul style="list-style-type: none">・ 講演 「平成26年度林業白書について」 ～特集の木材産業を中心にして～ 林野庁企画課：寺村課長補佐（年次報告班）・ 意見交換 ①林業政策及び林産関係 JAS の動向について ②林産関係 JAS に関する意見交換
28年1月27日		<ul style="list-style-type: none">・ J A S 制度の現状と今後の展開について（意見交換）・ 異物混入対策部会について（報告）

この他、連絡協議会異物混入対策部会を以下のとおり開催した。

期 日	場 所	主要議題
27年4月27日	J A S 協会 会議室 (東京)	<ul style="list-style-type: none">・ J A S 制度において、異物混入防止対応の実行が確保される効果的且つ効率的な手法について
27年9月1日		